

かんきょう活動センターだより 令和5年度冬号



ロウバイ

ロウバイ科

江戸時代初期に中国から観賞用として渡来した高さ2～4mの落葉低木。葉は卵状楕円形で互生。

花は1～3月に葉より先に、直径2cmあまりの香りのよい黄色い花をつける。早春に咲く人気種の一つ。府中市郷土の森博物館のロウバイは見事なものです。

親子かんきょう塾開催

■森キッズクラフトDAY in 浅間山公園

10月28日に森キッズを、都立浅間山公園の「せんげん広場」で開催しました。当日の天気は晴れで暖かい陽だまりの中、ドングリ工作、葉っぱプリント、草木染、缶バッチ作りのクラフトメニューとボランティアガイドによる浅間山の散策が行われました。参加した方々は、楽しく作った作品を持ち帰ったり、はじめて訪れた自然あふれる浅間山の散策を楽しんでいました。



草木染めのコーナー



会場の様子

■親子でエコクッキング



調理の様子

12月2日に学校給食センターで開催しました。ここで使う食材は秋の親子ふれあい農園で参加者が自分たちで育てた野菜を使用しました。今回は、白菜とじゃがいもを使って料理をしました。最初に、学校給食センターの栄養士さんからエコクッキングについて説明を聞き、その後、実際にレシピにそって調理をしていきます。参加した子ども達は、家でもお手伝いをしているのか包丁も難なく使っていました。みんなで味見だけを行い、お楽しみの実食は家に帰ってからとなりました。



学校給食センターの見学

調理後は、施設内の見学をしました。普段食べている給食の調理過程を知ることができました。

都立浅间山公園の取組

■子ども達に身近な自然について知ってもらう機会を提供 (武蔵野の公園パートナーズ)

都立浅间山公園では「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を行うため、産官学民との協働を大切にしています。そんな協働の取組の一つとして、令和5年10月5日、公園から徒歩5分の府中市立若松小学校で、パークレンジャー(環境教育担当スタッフ)とパークコーディネーター(協働担当スタッフ)が3年生の総合学習をサポートしました。今年度の総合学習は『身近な自然を守る心を育む』をテーマに展開されています。1学期は、浅间山で40年以上保全活動を行う市民団体「浅间山自然保護会」の会長が園内ガイドを行い、園内の環境や見られる動植物について学んでもらいました。2学期には、公園管理者の立場から自然環境保全を中心に授業を行い、公園管理の仕事について知ってもらいました。その授業の様子をお伝えします。

授業の前半では、パークレンジャーが浅间山公園の自然や歴史について、パークコーディネーターが公園管理の仕事全般について、それぞれ解説し、後半は、浅间山公園の理想の姿について考えるワークショップを行いました。



授業当日の様子



講師を務めたパークコーディネーター



ワークショップの様子



公園内のあずまやでの展示の様子



児童が記入したワークシートの一例

子どもならではの自由な発想で、施設やサービスの充実について様々な意見が挙がりました。書き込みしたワークシートは、令和5年10月28日に実施した親子向けイベント「森キッズクラブDAY」でお披露目。また、秋の来園者が増える期間には、公園内のあずまやに展示を行い、地域全体でより良い公園の姿について考える雰囲気づくりを行いました。

都立浅间山公園では、今後も、地域全体で公園を守り育てていく取組を進めていきます。

令和5年度「ウォーキングツアー」を開催しました！

毎年、春と秋に「府中市自然環境調査員会議」主催の「ウォーキングツアー」を実施しています。

今年度春は、令和5年5月9日（火）に実施。京王線中原駅を出発し、多摩川の河川敷に生育する植物を見ながら歩く約2時間半のコースです。5月でしたが気温も高めでしたので、水分補給の休憩をとりながら歩きました。この時期は、絶滅危惧種でもある「レンリソウ」が咲いています。マメ科のスイートピーの仲間、やや湿ったところに生育しています。市内では主に多摩川河川敷に生育しており、レンリソウ保護区として市民ボランティアの方々が草刈り活動を行い保全しています。今年も紫の小さな花をつけて、参加者の皆様を迎えてくれました。



レンリソウ保護区



河川敷観察風景



学内の様子

秋は、令和5年11月22日（水）に実施。市で発行している「府中市水と緑のネットワーク ウォーキングマップ」に記載されている「キャンパスの緑を巡る道」のコースをアレンジし、東京農工大学内を中心に歩く約3時間弱のコース。京王線府中駅を出発し、寿中央公園、東京農工大学、府中公園をまわり府中駅に戻ります。今回のメインは、東京農工大学内のサザンカ。日本各地のサザンカが250mほど並んで咲いている様子を見ることができました。学内には、名木百選に指定されているケヤキ並木、ヒマラヤスギやアカマツなどもあり、また紅葉の時期も相まって、多彩な葉を身にまとった木々に魅了されました。少人数での実施でしたが、その分、自然環境調査員そして参加者の皆様同士が和気あいあいと楽しく観察しながら歩くことができました。

毎回、ウォーキングツアー終了時に参加者の皆様から感想を伺うと、「また参加したい」と回答くださる方が多く、大変嬉しく思います。このウォーキングツアーを実施するまでには、自然環境調査員がコースや説明内容を考え、実際に歩いて時間を計り、直前には植物の調査に出かけ準備をしています。市内には、素敵な場所がたくさんあります。令和6年度も魅力あるイベントを企画いたしますので、皆様、お気軽にご参加ください。心よりお待ちしております。

また、秋の企画に際して参考にした「府中市水と緑のネットワーク ウォーキングマップ」は、だれもが気軽に歩きながら自然や歴史に触れることができるように自然環境調査員が調査し、散歩気分で楽しめるような5kmから7kmのコースを紹介しています。

市役所や各文化センター等でご購入いただけます

(1部：税込100円)。

是非、ご覧ください。



サザンカ



ウォーキングマップ

環境啓発ポスターコンクールを開催

府中市では、市民の環境保全に対する理解を深めるとともに、環境保全への関心を高めることを目的に、環境啓発ポスターコンクールを毎年実施しており、今年度で12回目となります。本年度は小・中学生、一般の方から、計92点の応募がありました。この中から小・中学校の国語・図工・美術教諭の審査により、最優秀賞には府中第五中学校の渡邊真尋さんの作品が選出されました。また、東京緑化推進委員会会長賞を2点、優秀賞を3点、資源循環推進賞を2点、佳作を4点、入作品として選出し、表彰を行いました。

最優秀賞（1点）



東京緑化推進委員会会長賞（2点）



優秀賞（3点）



資源循環推進賞（2点）



佳作（4点）

選出された作品は、市の環境啓発に活用されるほか、令和6年2月1日から29日までの間、ル・シーニュ内にある府中市市民活動センタープラッツにて開催される、花王国際こども環境絵画コンテストの入賞作品展示会に、同賞の入賞作品とともに展示させていただきます。

府中市環境保全活動センター

■所在地 〒183-8703

府中市宮西町2丁目24番地
府中市役所 おもや3階
生活環境部環境政策課内

■電話番号 042-335-4410

■問合せ 平日の午前9時から午後5時

ホームページ <https://fuchu-kankyo.com/>

メールアドレス mail@fuchu-kankyo.com

【編集後記】

2023年は地球温暖化問題から、さらに厳しい地球沸騰化時代などと呼ばれるようになりました。国連でもこの重大さをアピールしていますが、世界各地では異常気象による災害の発生が続いています。2024年は、とにかくできることからなんでもはじめる。一人ひとりが自分ごととして積極的に行動することが求められています。誰もが迷うことなくしっかりと、行動することをはじめめる年にしましょう。

（編集委員 J）

発行日 令和6年2月7日

編集・発行 府中市環境保全活動センター
広報活動部会

次回発行予定 令和6年4月

